

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 11 月 5 日 (2015.11.5)

【公表番号】特表 2014-526620 (P2014-526620A)

【公表日】平成 26 年 10 月 6 日 (2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2014-055

【出願番号】特願 2014-530903 (P2014-530903)

【国際特許分類】

A 4 1 D 13/08 (2006.01)

A 4 1 D 13/015 (2006.01)

【F I】

A 4 1 D 13/08

A 4 1 D 13/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 10 日 (2015.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

図 1 から図 3 は共同で、本発明の一実施例による緩衝パッド 2 0 0 を図示する。パッド 2 0 0 は前述のように、肘関節の立体形状に合わせた形状、サイズおよび形態を有するが、パッドは特定のデザインまたは利用形態に対して実用的または望ましい任意の形状、サイズおよび形態であっても構わない。パッド 2 0 0 は、前面 1 0、背面 1 2 および外縁 / 周囲 1 4 を含み、緩衝層 1 5 はオプションの外層 1 6 と内層 1 7 の間に配置されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

本発明の実施例によっては、1 以上の外殻部を 1 以上のメダリオン 1 8、3 0、3 2 の上に配置することができる。図 4 から図 6 にかけて示すように、緩衝パッド 2 0 0 a は 1 以上のメダリオン 1 8、3 0、3 2 に配置される外殻部 1 8 a、3 0 a、3 2 a を含む。自身に取り付けられているメダリオンの外面に外殻部が形状一致することが望ましい。この実施例では、外殻部はメダリオンの上面と形状一致する。オプションでは外殻部は側壁 3 6 上に下方に向かって、メダリオンの上面とヒンジの上面との間の距離の一部で延出するフランジ 2 6 0 を含む。例えば、望むなら、フランジ 2 6 0 はメダリオンの上面からのヒンジの上面までの距離の約 1 / 4 から約 3 / 4 だけ延出できる。あるいは、望むなら、フランジ 2 6 0 はメダリオンの上面からヒンジの上面までの略全距離を下方に向かって延出することができる。実施例によってはフランジが、テーパ加工されているかベベル加工された縁部を有することが望ましい (図 7 および図 8)。これでフランジ縁部が、メダリオンの外面またはメダリオンに対して隣接関係となる他の表面 (例えば、緩衝パッドの 1 つを組み込んでいる緩衝スリーブに重ねて着用される衣類の内部) に “引っ掛かる” ことが防止または低減されるであろう。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

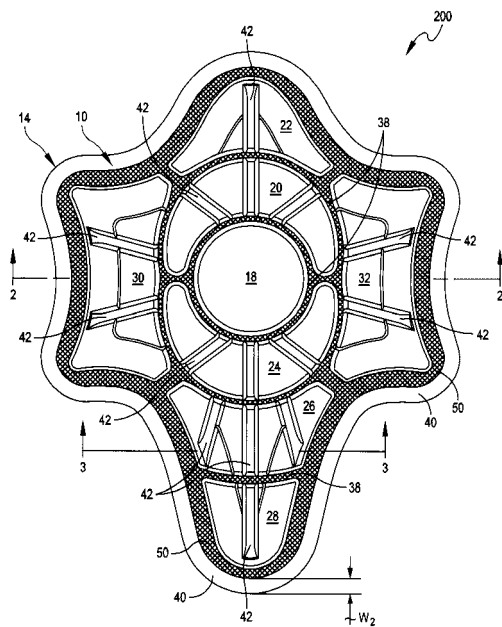


FIG. 1

【図 2】

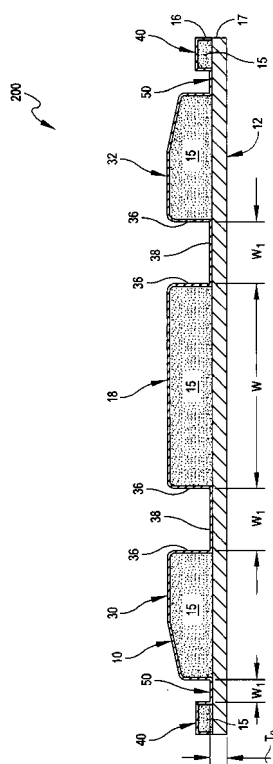


FIG. 2

【 図 3 】

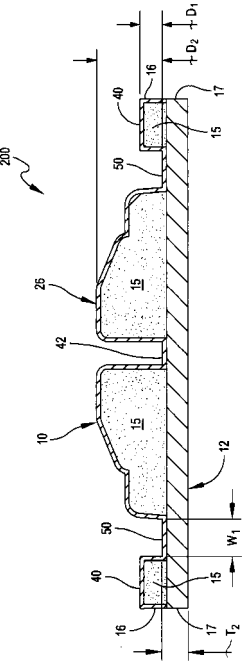


FIG. 3

【 図 4 】

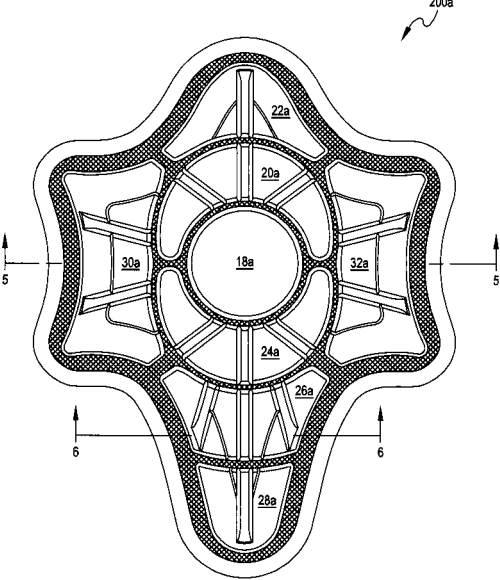


FIG. 4

【 図 5 】

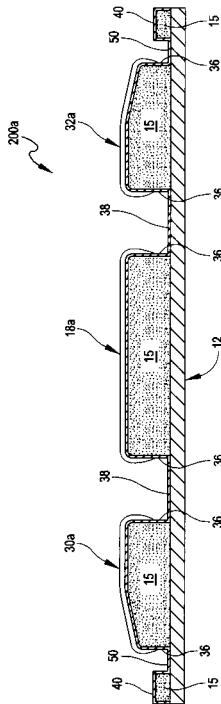


FIG. 5

【 図 6 】

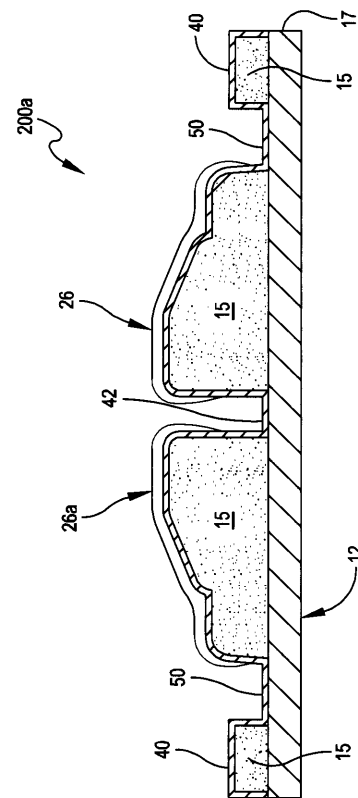


FIG. 6

【 図 7 】

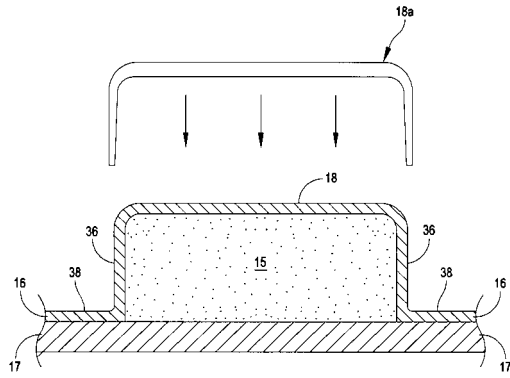


FIG. 7

【 図 8 】

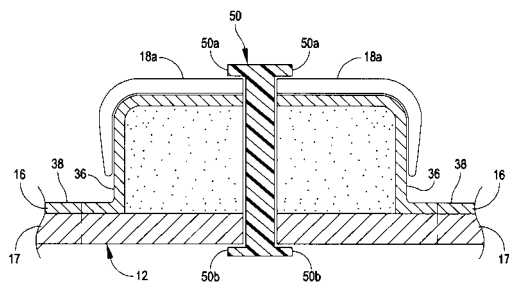


FIG. 8